

•data_viewファイルは、データの型と表示方法、デフォルト値や制約などを定義する

etc/data_view/sample.view.conf

[id]
type=id

[name]
type=text
label=名称
attr=start
size=50
maxlength=50
end_attr=true

[url]
type=url
label=URL
attr=start
size=50
maxlength=128
end_attr=true

[セクション名]
HTMLの<input>タグのname属性に相当する。
SQLテーブルのカラム名でもある。
1つめのセクションは必ず[id]、type=idでなければならない。

type=タイプ名
※フィールドの形式。HTMLの<input>タグのtype属性やHTML_QuickFormのaddElementのタイプ名を指定する。Quicity独自のタイプ名もある。

label=見出し
※HTMLで表示するときのフィールドの見出し。
<table>～</table>内で<th>～</th>に
使用される。

attr=start
～
end_attr=true
※<input>タグのオプションを「名前=値」の形式で列挙する。
1行に1属性。文字列の場合も、"は使わない。

このほか、

- ・ list=start ～ end_list=true：select型のoptionを指定。
- ・ default_list=start ～ end_default_list=true：デフォルト値を指定。
- ・ rule=start ～ end_start=true：HTML_QuickFormの検証ルールを指定。
- ・ force_value_list=start ～ end_force_value=true：クラス変数や環境変数の値を割り当てる。
- ・ reference=start ～ end_reference=true：配列やDBのテーブルから値を取り出して割り当てる。

などが指定できる。



名称	<input type="text"/>
URL	<input type="text"/>
<input type="button" value="登録"/>	